



# 明和学園短期大学

## 出張講座

### 2020



明和学園短期大学では、開かれた大学を目指し、地域貢献の一環として、教員が県内の各市町村、学校、公民館等に赴いて出張講座を実施しています。それぞれの専門的な知識を生かした個性ある講座を用意しております。

裏面の講座一覧表をご覧ください、お気軽にお問い合わせくださいますよう、ご案内いたします。

(講座は講師代不要、講師交通費と材料費のみ実費負担です。)

#### 《出張講座の申し込みについて》

お申込みいただいた場合、教員との日程調整等の手続きが必要となります。実施希望日の2か月前までにお申し込みくださいますよう、お願いいたします。日程調整は出来る限り対応させていただきます。検討中であってもかまいませんので、ご連絡くださるようお願いいたします。

【申込先・お問い合わせ先】

明和学園短期大学 教務課 金井・木村

〒371-0034

群馬県前橋市昭和町 3-7-27

Tel 027-231-8286 fax 027-231-8062

e-mail kimura@hirakatagakuen.ac.jp



講座開講日程については、担当講師の予定を調整したうえでご希望に応じます。

No.	講座名	講師名	内 容
1	近代日本と世界の流れ	金井 尚之	幕末から明治維新にかけてたくさんの英雄が輩出しました。近代日本の成立を世界の中の日本という視点で、世界史と関連させながらわかりやすく解説します。
2	学びでわかる、遊びでわかる、小倉百人一首の世界	加藤 富士人	古代から現代に至るまで、多くの人に愛された和歌と、それにまつわる話題を取り上げながら、子どもからシニア世代までが楽しめる「小倉百人一首」の遊びを、体験しつつ学ぶことを目的とします。初学者・初心者にも十分楽しめる内容です。
3	体験を通して感じる、面白い数と図形	佐藤 功	60° を折り紙で折るとどんな作品ができるでしょうか？ 直線ではなく、曲線で折ったらどんな形ができるでしょうか？ 桔梗の花弁は何枚？ 黄金比と名刺の関係は？ など身近な数学を体験してみましょう。
4	幼児期に大切なこと	横坂 好枝	幼児期は、昔から「三つ子の魂百まで…」と言われるように、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる大切な時期です。幼児期の発達の特徴を踏まえながら、何を大切にしていいたらよいのか、また、大人はどのようにかかわったらよいのかを探ります。
5	つくってあそぼう 簡単実験工作	天宮 陽子	<b>【子ども・親子対象】</b> こどもたちが本来もっている「なぜ？」「知りたい！」と思う気持ちを引き出し、生活の中の身近な不思議を実験や観察を通して確かめます。育った知的好奇心は、こどもの科学する姿勢の土台をつくります。(材料費実費負担、30名位まで)
6	親子で楽しむ運動あそび	永井 真紀	幼児期に様々な運動と触れ合うことによって、運動機能が刺激されます。安心感の下、親子で触れ合いながら体を使ったあそびをします。お子様用、保護者用、親子で一緒にできるプログラムを実践します。
7	パフォーマンス向上は食の力から～スポーツ栄養～	尾上 治子	スポーツをする上でトレーニングと同様に「食事」は重要です。どんな食事をしたら勝てる身体づくりができるのか。パフォーマンス向上のための食事は？ 食べるタイミングは？ スポーツ栄養の「基礎編」の講座です。(調理実習や試食を伴う場合は、材料費実費負担)
8	食育をしてみよう	木村 祐美	子どもが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくために、また子どもの健康支援のために「食」はたいへん重要です。食育のあり方を理解するとともに、食育の事例紹介や豊富な食育教材を利用して、食育の実践方法を具体的に学びます。
9	食物アレルギーにやさしいおやつ	木村 祐美	食物アレルギーを理解することで、心身の成長と食生活の大切さについて学びます。また、食物アレルギーのあるなしにかかわらず、同じおやつをみんなが楽しめるように、米粉や豆乳などの食材を使ったクッキーやクレープなどの調理実習を行います。(アレルギーに対応したおやつレシピで対応：材料費実費負担)
10	時短・簡単・朝ごはん	神保 京子	子どもたちがすこやかに心と体を育み成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切といわれています。子どもの生活リズムや食習慣の確立を促し、健康な心と体を育てる「朝食」について、いっしょに考えてみましょう。
11	栄養士のすすめる「和食育」	高橋 雅子	今や世界から注目を集める「和食」。次世代を担う子どもたちに日本の伝統的な食文化をいかに伝えていくのか。教育現場でも「和食給食」の取り組みが広がっています。和食の魅力を見つめなおし、子どもの発育や成長に合わせた「和食育」のあり方を考えます。親子クッキングの場合は応相談、材料費は実費負担となります。
12	ロコトシに挑戦してみよう！	永井 真紀	骨・関節・筋肉などの運動器(ロコモティブオーガンの)障害のために運動能力が低下し、生活の自立度が下がる事をロコモティブシンドロームと言います。高齢者だけではなく、早い人は40歳くらいから始まります。理論とともに予防のための運動を実践します。
13	健康食品と正しくつきあいましょう	木村 祐美	健康食品の効果に期待して、さまざまな商品が販売される中、誤った使用方法で思わぬ健康被害にあうこともあります。いわゆる健康食品と特定保健用食品や機能性表示食品の違いを知り、正しい利用方法や情報入手の方法等を学び、食生活のあり方を考えます。
14	めいたんキッチン～災害編～	栄養専攻 教員	いつ起こるかかわからない「災害」の際の食事の確保を皆さんは日頃から考えていますか？めいたん(明和学園短期大学)キッチンでは、いざという時に備えた「災害食」の工夫を提案します。実演・試食または体験学習をしながら、「災害食」を一緒に考えましょう。(材料費実費負担)